

自由民主党 吉川市議員団団報

Vol.28

発行：自由民主党吉川市議員団

発行責任者：松崎 誠

連絡先：<http://www.jimin-mirai.jp/>
<http://ameblo.jp/jimin-mirai/>



6月定例会 吉川市役所新庁舎完成。新たな議場で定例会を開催。

平成30年6月定例会 会期 6月1日～6月15日まで15日間

市長提出議案

条例 6件 人事案件 1件 補正予算 1件 専決処分 3件
 工事請負契約 4件 市道の路線認定 1件 合計16件

補正予算

平成30年度吉川市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2790万円を追加、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ12億7567万7千円とする。

工事請負契約の締結

- 第42号議案 吉川市旧庁舎解体工事
斎藤工業株式会社 埼玉東支店 1億9949万9760円
- 第43号議案 吉川中学校建設工事(建築工事)
関東建設工業 さいたま支店 24億1704万円
- 第44号議案 吉川中学校建設工事(電気設備工事)
株式会社イートラスト埼玉 2億2008万2400円
- 第45号議案 吉川中学校建設工事(機械設備工事)
株式会社サイエイヤマト 3億6487万8千円



「市内全小中学校一斉にエアコン設置を検討」設置時期は未定!

6月定例会で、「市内小中学校、一斉にエアコン設置を見据えて検討する」と 市側の答弁があった。私たち会派では、異常気象、温暖化が進む中で、児童生徒達の学校生活に公平性を保つため、市内全小中学校にエアコンの設置をと以前から「予算要望書」の中で要望してきました。また、市議会でも全会派一致でエアコン設置を要望してきました。



「市民交流センターおあしす」改修に関する申し入れを提出。

3月議会平成30年度当初予算の中で、「市民交流センターおあしす」改修事業費8703万円の減額修正案が提出されました。市民から寄せられた要望書の「願意」を重く受け止め、私たち会派も減額修正案に賛成しました。

減額修正案賛成理由

私たちの会派では出来るだけ予算案を止めずに、賛成することを基本としています。これは私たちだけでなく、他の会派も、他の議会でも、予算案を減額、否決するという事は行政サービスがストップすることを意味しますから、大変重いことです。しかしながら、「はーとふるぽっと」の運営母体である「葎の里」と、きちんと合意が得られていないことが、私たちの調査でも明らかになっていました。

そうした中、昨年10月に「市民の会・無所属」会派が要望書を市側に提出しました。そこで迎えた本年3月議会においても、「葎の里」側の意思決定がなされていない中で、おあしす改修事業の予算が上がってきたのです。「市民交流センターおあしす」については、平成29年度3月に利用者満足度調査において総合満足度95.8%と非常に高く、多くの市民から現在の「おあしす」について評価をいただいております。ところが、道路整備に対する市民満足度は48.4%であるにも関わらず、土費は、対前年度比2億6千万円の減額となっております。繰り返しになりますが、「葎の里」側で意思決定がされていない中で、また、昨年11月の保護者アンケートで58%が反対の声の中で、しかも財政が大変厳しい中で「市債」まで発行して、なぜ、そんなに急ぐ必要があるのか?もっとやるべき事があるのではないか?というのが、第一の理由です。



第2に、新庁舎の3階、職員休憩室等で、お弁当やコーヒー等の販売を予定しているとの事でしたが、売り上げを上げる、障がい者の工賃を上げることは私たちも重要だと考えております。しかしながら、それと同時に障がい者がひたむきに、懸命に働く姿を見てもうらうことも、市民の方々の障がい者理解を深めるという重要な側面もあると考えております。よく市長は「先人に敬意と感謝を」という言葉を良くおっしゃられておりますが、おあしす設立当初から、なぜあの場所に、つまり、1階入り口付近に障がい者就労支援施設を置いたのか?深井誠初代市長をはじめ、おあしす設立に関わった先人たちはどの様な想いであの場所に設置したのか?そういった事を考慮したのか?もちろん、障がい者の工賃を上げることも重要ですが、そういった側面だけにとらわれず、今一度、考え直してもいいのではないかと考えたからです。

第3の理由として、3月8日「おあしすの改修問題を考える会」より、「改修については、実施するかしないかも含めて市民の声を十分に反映させるべきである、改修を一時休止し、市民から提出された意見・要望についてしっかり検討していただきたい。」旨の要望書が95名もの多くの署名とともに、市長・教育長・市議会議長あてに提出された事を、大変重く受け止めたからであります。

以上、3点の理由により、私ども、自由民主党吉川市議員団、会派として、この減額修正案に賛成いたしましたところ です。

松崎 誠 議員 江戸川堤防強化対策事業の進捗事業について

都市整備部長 平成30年3月末の市内工事状況は、用地買収が約9割、工事が約5割完了しています。

防災ステーション整備について

都市整備部長 国が実施している事業で、用地買収が9割と聞いています。なお、利活用については、災害時は、水防活動の拠点として、平常時は、地域の人々のレクリエーションの場とし、賑わい拠点として、活用できるよう協議をしていきます。今後も事業の進捗が図られるよう引き続き国へ要望していきます。

野田橋付近の交通渋滞解消への取り組みについて

都市整備部長 千葉県との県境である江戸川に架かる野田橋付近においては、両県の交通が集中することから、交通渋滞が特に激しくなっている状況を認識しているところですが、交差点の信号機については、埼玉県警察本部が特別点検を実施したところ、野田橋方面の車両が先詰まりするため、「青矢印の信号の設置は難しい」と聞いています。なお、時差式など、他の方法について関係機関と要望内容について検討します。また、本市では、慢性的な交通渋滞解消のため、野田橋の架け替えを含む、都市計画道路「浦和野田線」の4車線化の早期完成を促進することを目的とした「浦和野田線建設促進期成同盟」を組織しており、その同盟会の活動といたしましては、毎年、埼玉県と千葉県に、「浦和野田線」の4車線化や建設の早期完成に向け、積極的に要望しているところですが、



加藤 克明 議員 東埼玉テクノポリス拡張の進捗状況について

平成29年6月定例会の一般質問で、拡張を従来の「市施行」から「県企業局に働きかけていく」と答弁、大きな方向転換をされた。あれから1年、産業振興部長が発足して3ヵ月、県企業局との進捗は。

産業振興部長 平成29年12月に県企業局、平成30年1月と6月に県企業局と都市整備部田園都市づくり課に意見交換。5月には県企業局公営企業管理者を訪問。これまでの経緯を説明し、企業局での施行について市の意向を伝えた。拡張に向けての条件整理として吉川美南駅東口の商業・工業・産業ゾーンの参入が見込まれることが必要。県企業局からは、近年の経済状況から、新たな開発地、特にニーズが確実である、候補地を求めているとの話をいただき、東埼玉テクノポリスの拡張についても良い評価をいただいた。

今後の農業政策について

この程、「船渡内地区」に埼玉型ほ場整備の機運が高まっていると聞いている。農業従事者の減少、高齢化、担い手不足が深刻な中、今後の吉川市の農業政策をどのように展開していくのか。

産業振興部長 埼玉型ほ場整備の実施については、地権者や耕作者の同意が前提。事業内容を十分に理解いただき、地域の地権者を中心とする協議会の設立や地権者の方々から事業への同意をいただいたのち埼玉県が事業化。主な条件として事業面積20ha以上であること、事業実施地域内の農地の一定割合を担い手と呼ばれる中心的な農業者へ集積する事とあります。国・県・土地改良区との連携のもと、埼玉型ほ場整備事業に代表される生産性の向上に資する整備を計画的に進めるとともに、規模拡大を図る農業者はの集積化・集約化を促進してまいります。高齢化に伴う農業の担い手不足は大きな課題の一つです。現在、市内農業の中心となっている農業者からは、これからの吉川の農業は魅力ある産業であるという声が多く聴かれ、このような認識を拡げることが担い手の確保につながるものと考えております。



吉川 敏幸 議員 WEB版ハザードマップの作成を

現在のPDF化されたハザードマップではなく、GPSと連動し、現在地から最寄りの避難施設やそこまでの距離等、様々な情報を確認できるWeb版ハザードマップを作成すべきと考えるが、市の見解を伺う。

市民生活部長 有効であると認識しているが、国土交通省の重ねるハザードマップの周知を優先したい。

災害は時間や場所を選んではくれない、重ねるハザードマップでは、避難場所等不明で、仕事やプライベートで吉川市に来ている方には、緊急時に必要な情報が不足している。自治会の防災訓練等で国土交通省と柏市等のハザードマップを比較すれば、違いは一目瞭然である。どちらが良いか意見集約をする考えはあるのか。

市民生活部長 現在は考えてない。

全公用車にドライブレコーダーの設置を

平成17年の国土交通省の調査で、ドライブレコーダーを設置することにより事故率を減少させる効果があることが実証されている。また、埼玉県は人口千人当たりの警察官数は全国ワースト1であり、且つ、埼玉県東部は治安の良い地域とは言えない中、ドライブレコーダーは動く監視カメラとしての役割を果たすことが期待される。そして、ヒヤリハットデータの集積により、道路などに問題点があると判断した場合は、交通事故を未然に防ぎ、看板設置や路面標示、改良工事等を早期に行えるというメリットがある。安心安全なまちづくりのために、全公用車にドライブレコーダーを設置すべきと考えますが、市の見解を伺います。

総務部長 犯罪抑止、事故発生抑止、また、危険箇所が可視化され、事故の未然防止に繋がると考えている。研究していく。

子供たちの笑顔のため、ゴールの再設置を

栄小学校西側、中央緑地内にあるハンドボールコートのゴールが昨年末撤去され、約半年間そのまま放置されている。市の将来を担う子どもたちの笑顔と活気でまちを満ちることを基本目標の一つに掲げている中、この状況をどうお考えか。見解を伺います。

都市整備部長 再設置が行えるよう努力してまいります。



吉川 敏幸
総務水道委員
議会広報副委員長
1期目



加藤 克明
建設生活副委員長
吉川松伏消防組合議会議員
2期目



中嶋 通治
吉川市議会議長
総務水道委員
議会広報委員
東埼玉資源環境組合議会議員
3期目



松崎 誠
自由民主党吉川市議員団団長
議会運営委員長
文教福祉委員
江戸川水防事務組合議会議員
4期目